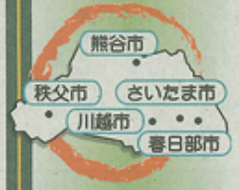
地域総合

広告のご用命 TEL 048-795-9932
本社編集局
さいたま市北区吉野町2-282-3
TEL 048-795-9161
FAX 048-653-9040
dokusya@saitama-np.co.jp



道ばただより
春日部の自然

カラスノエンドウ
小さな葉から蜜

散歩の途中、カラスノエンドウの間をミツバチが飛んでいるのに気が付いた。が、花に止まることなく、葉の付け根辺りに止まる。ほんの短い間止まっていたかと思うと、別の葉の付け根に止まって、と、繰り返し葉の付け根を訪れている。

葉の付け根、茎から葉が出ているところには托葉（たくよう）と呼ばれる小さな葉があって、その裏側が黒っぽくなっている。虫眼鏡で見てみると、黒っぽくなったところは少しくぼんでいて、そこに光るものが見えた。

光っているのは蜜。植物によっては、花以外の場所でも蜜を出しているものがあり、カラスノエンドウは托葉の裏側に蜜を出すところがある。植物が花以外の場所で蜜を出すのは、甘いものが好きなアリを呼び寄せ、パトロールしてもらうのが目的だとか。葉を食べる虫を退治してもらうらしい。

目を凝らさないと見えないほど、蜜の量は少なく、ミツバチにとって効率いい蜜集めとは言い難い。とはいえ、カラスノエンドウとしては「ミツバチのために用意したんじゃない！」と言いたいのかもしれないが。

（文と写真、県生態系保護協会春日部支部長・三好あき子）

葉の付け根にある托葉の蜜をなめるセイヨウミツバチ。左下は托葉にある蜜腺から出た蜜

感謝の涙 忘れない

コロナに負けルナ

お店から料理を受け取って注文したお宅へ配送―。今、注目されている新しい宅配システムを期間限定のボランティアで始めたお米屋さんがある。「須田さんのスーダーイーツ」。テークアウトはできてもデリバリーは難しい。そんな飲食店の救世主となっている。

（高野里美）

スーダーイーツ

飲食店から料理を受け取る「スーダーイーツ」の配達員（提供写真）

の4代目だ。

新型コロナウィルス感染拡大の影響で飲食店の打撃が大き。一方、自粛で外出、外

店

代行

飛沫予防シート タクシーに設置

中央区の平和自動車

タクシー業の平和自動車（さいたま市中央区、山岸俊和社長）は27日から、新型コロナウイルス対策として、車内の運転席と後部座席の間にビニール製の飛沫予防シートを設置した車両の運用を開始した＝写真。

飛沫予防シートは、同社が運行する全車両（70台）に配備。外出自粛要請が出された後も、医療機関や日常の買い物でタクシーを利用する高齢者や障害者などが、安心して利用できるように設置した。

同社は2月下旬から、全乗務員へマスクを配布。着用の徹底も図り、車内の消毒と換気などにも務めている。

山岸社長は「タクシーは外出をせざるを得ない方々の移動を使命感を持って支えている。少しでも安心して利用していただければ」と呼び掛けた。

配車の問い合わせは（☎0120・188961）へ。

（高屋敷健）

新型コロナ感染拡大防止で各施設の対応

公園の駐車場や遊具使用を中止

さいたま市

さいたま市は28日、大型連休中の外出自粛を踏まえ、市内大規模公園の駐車場を閉鎖し、複合遊具なども使用中止にすると発表した。

期間は29日から来月6日まで。駐車場は岩槻城址公園、駒場運動公園など市内40カ所。滑り台やうんていなどを

組み合わせた複合遊具は28公園、バスケットゴールは10公園で使用中止とする。

公園のほか、大宮花の丘農林公苑や市民の森・見沼グリ

老舗酒井の
奈良漬 清漬 浦和名物 お漬物
浦和名物
電048(822)2110

点の中から審査を重ね、市手（応募当時）の牧龍平君まった。アピール欄には「みいく、したしみやすい。うなっている」と書かれておやすさなどから選ばれた。

連携を強化している同館は、「うらわ美術館こどもニうびぃ」を発行している。一名はこの名前から採用し行の50号に、「うらびぃ」されている。同館の担当者ちと美術館をつなぐ役割ましい」と期待している。ページの教育普及事業ページどもニュースをダウンロー

同館は29日、牧君を招いて表彰式を実施する予定だったが、新型コロナウイルスの影響で中止になった。25日から開催予定だった20周年記念展「芸術家たちの住むところ」も中止し、休館が続いている。

（杉野孝）

うらわ美術館のキャラクター「うらびぃ」（同館提供）